

第4版

がん化学療法 副作用対策ハンドブック

副作用の予防・治療から、
抗がん薬の減量・休薬の基準、外来での注意点まで

第4版の序	岡元るみ子	3
初版の序	佐々木常雄	5
Color Atlas		11

序章 がん薬物療法をはじめる前に

1	がん治療とチーム医療	岡元るみ子	24
2	標準治療と臨床試験	棟方 理	26
3	がんゲノム医療		
	バイオマーカーとコンパニオン診断薬	山口 将太, 葉 清隆	31
4	がんの病状と薬物療法についての説明	前田 義治	38
5	治療前評価	前田 義治	42
6	がん患者への支援		
	A. 意思決定と就労支援	矢ヶ崎 香	46
	B. 小児～若年患者への気配り	川村眞智子	50
	C. 高齢者への気配り	岡元るみ子	56
	D. 遺伝性腫瘍	川村眞智子	61

第1章 抗がん薬の副作用と治療

総論			
	細胞障害性抗がん薬、分子標的薬	岡元るみ子	68
1	過敏反応, infusion reaction	岡元るみ子	70

2	血管外漏出	矢ヶ崎 香	80
3	骨髓抑制・血液毒性		
	A. 白血球減少（好中球減少・リンパ球減少）	真子 千華, 辻村 秀樹	88
	B. 赤血球減少・輸血療法	柳原 一広	99
	C. 血小板減少	柳原 一広	105
4	消化器毒性		
	A. 悪心・嘔吐（CINV）	作山 浩希, 野村 琴音, 辻 晃仁	110
	B. 下痢・便秘, 麻痺性イレウス	作山 浩希, 野村 琴音, 辻 晃仁	120
	C. 口腔粘膜炎	白濁 公敏, 高子 利美	129
5	循環器障害	岡元るみ子, 川崎 智広	138
6	肺毒性	細見 幸生	149
7	肝障害	三谷誠一郎, 林 秀敏	155
8	腎障害	津端由佳里	161
9	神経障害	津端由佳里	171
10	皮膚障害	平川 聡史	182
11	浮腫	平川 聡史, 岡元るみ子	199
12	味覚障害	真子 千華, 辻村 秀樹	207
13	栄養障害	久保浩一郎	212
14	眼障害	五嶋 摩理	219
15	筋肉骨障害	宮越 浩一	226
16	内分泌障害	岡元るみ子	230
17	精神症状	赤穂 理絵	236
18	性機能不全	鈴木 直	250
19	二次発がん	湯坐 有希	256
20	感染症	冲中 敬二	264

21	化学放射線療法（CRT）/RI内用療法・放射性核種療法（RNT）の副作用	張 大鎮	278
22	緊急処置が必要な副作用	湯川 裕子, 有岡 仁	284

第2章 免疫関連有害現象の対策と治療(irAE)

総論	岡元るみ子	296	
1	肺障害/ILD（間質性肺炎/肺臓炎）	加藤 晃史	299
2	消化器障害	高橋 昌宏	304
3	内分泌障害	岡元るみ子	310
4	神経障害	鈴木 重明	318
5	皮膚障害	平川 聡史	324
6	心筋炎	岡元るみ子, 北原 康行	335
7	その他（肝障害, 腎障害, 血液障害）	三谷誠一郎, 林 秀敏	341

第3章 抗がん薬の種類

1	アルキル化薬	宮澤 真帆, 香取 哲哉	348
2	代謝拮抗薬	宮澤 真帆	354
3	抗腫瘍性抗生物質	宮澤 真帆	366
4	微小管阻害薬	宮澤 真帆	368
5	白金製剤	宮澤 真帆	377
6	トポイソメラーゼ阻害薬	宮澤 真帆	382
7	分子標的薬	宮澤 真帆, 殿村 直也, 香取 哲哉	390
8	内分泌療法薬	宮澤 真帆, 香取 哲哉	448
9	免疫調整薬	宮澤 真帆	457
10	免疫チェックポイント阻害薬	宮澤 真帆	459

第4章 レジメン別の副作用

- 1 脳腫瘍 田部井勇助, 岡元るみ子 464
- 2 頭頸部がん 岡元るみ子 469
- 3 肺がん 細見 幸生 471
- 4 乳がん 柿本 應貴 481
- 5 消化器がん
 - A. 食道がん・胃がん・大腸がん 485
 - ①食道がん, ②胃がん-術後補助化学療法, ③胃がん-HER2 陰性, 一次治療,
 - ④胃がん-HER2陽性, 一次治療, ⑥胃がん-二次治療, ⑦大腸がん-一次~二次治療, ⑧大腸がん-RAS/BRAF 野生型, 一次治療, ⑨大腸がん-BRAF V600E 陽性, 二次治療, ⑩大腸がん-三次治療 高橋 昌宏
 - ⑤胃がん-CLDN18.2 陽性, 一次治療 香取 哲哉
 - B. 肝胆膵がん 高橋 昌宏 498
- 6 婦人科がん 岡元るみ子 501
- 7 泌尿器生殖器腫瘍 (腎・膀胱・前立腺), 胚細胞腫瘍 前嶋 愛子 504
- 8 骨軟部組織腫瘍 前嶋 愛子 512
- 9 造血器腫瘍
 - A. 白血病 (AML, APL, ALL, CML) 棟方 理 518
 - B. 悪性リンパ腫 岡元るみ子 525
 - C. 多発性骨髄腫 伊勢美樹子 528
- 10 特殊な治療 (造血幹細胞移植, CAR-T 細胞療法) 棟方 理 532

第5章 抗がん薬投与の実際 -安全と基本手技-

- 1 がん薬物療法を安全に施行するために 照井 一史, 佐藤 温 538
- 2 抗がん薬の投与手技 中原 善朗 542

3 ストーマ管理	佐々木尚美	550
4 曝露対策	宮澤 真帆	553

付 録

付録1 副作用と支持療法薬一覧表	宮澤 真帆	564
付録2 CTCAE v5.0		572
付録3 体表面積表 DuBois式		598
付録4 全身状態 (performance status)		600
付録5 RECIST v1.1		601
付録6 自己免疫関連有害事象のモニタリング	岡元るみ子	603
付録7 がん治療の情報収集	長谷川 圭	608
付録8 ガイドラインエビデンスレベル	長谷川 圭	610
索引		611
執筆者一覧		618

column

LGBTQ+とがん	66
サイトカイン放出症候群 (cytokine release syndrome : CRS), 免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群 (immune effector cell associated neurotoxicity syndrome : ICANS)	78
敗血症性腎症の治療	169
透析患者に薬物療法を施行する際のポイント	169
傍腫瘍性神経症候群 (paraneoplastic neurological syndrome : PNS)	180
悪液質とアナモレリン	217
甲状腺クリーゼ (thyrotoxic storm or crisis)	233
患者さんに「死にたい」と言われたとき	249
劇症型心筋炎	340